

病害虫発生予察情報

1 月月報

平成 30 年 2 月 16 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2018 年 1 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	10.9	0.7	-0.3	0.5	5.1	0.7	6.0	53	69.3	112
中旬	9.8	0.3	-1.3	-0.5	4.3	0.1	8.5	53	66.0	118
下旬	6.8	-2.8	-4.6	-3.5	1.2	-2.9	29.5	138	76.4	111
平均	9.1	-0.6	-2.1	-1.2	3.5	-0.7				
合計							44.0	90	211.7	113

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1981～2010 年の平均値）からの差（比）

<天候概況>（千代田区北の丸公園）

- ◎ 気 温：上旬は平年並、中旬は高く、下旬はかなり低かった。
- ◎ 降 水 量：上旬は平年並、中・下旬は多かった。
- ◎ 日照時間：上・中・下旬すべて平年並であった。

上旬：気圧の谷や低気圧の影響で曇りや雨の日もあったが、冬型の気圧配置となり、晴れの日が多くなった。

中旬：前半は冬型の気圧配置や高気圧に覆われ晴れの日が続いたが、寒気の影響で日平均気温が低くなった日もあった。後半は、本州付近を通過した低気圧や上空の気圧の谷の影響で雨や曇りの日が多く、日平均気温が高くなった。

下旬：晴れの日が多くなったが、22 日から 23 日にかけて低気圧が本州の南岸沿いを通過したため大雪となり、東京では 22 日の最深積雪が 23 cm となった。その後非常に強い寒気が日本付近に流れ込み、東京では 25 日の最低気温が -4.0°C とかなり低くなった。

2 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：促成トマトはおおむね順調であった。促成イチゴは秋の日照不足の影響で頂花房の花数がやや少ない傾向であった。

葉菜類：コマツナやホウレンソウは低温の影響で生育が遅れた。キャベツ、ハクサイは低温の影響で生育・結球が遅れる傾向であった。

根菜類：ダイコンはやや生育が遅れる傾向であった。

3 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト (施設)

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ (施設)

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ハウレンソウ

ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ (施設)

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(3) 島しょの病害虫

小笠原 (母島) : トマトでマメハモグリバエの発生がやや多かった。
その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

病害虫防除所ホームページ

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/anken/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。